

2025年3月期 第3四半期 Web 決算説明会 主な質疑応答記録

日時：2025年1月31日(金) 12:00 ~ 12:45

出席者：取締役 常務執行役員 経営企画本部長 井上 智弘

<多結晶シリコン・IC ケミカルの販売状況について>

Q:多結晶シリコンの年間販売数量の伸び率はどれくらいを見込んでいるか。大手ウエハーメーカーは、デバイスメーカーでの在庫調整が続くとコメントしていたが、トクヤマに影響はないのか。

A:2024年度が多結晶シリコンの販売数量は、対2023年度比で20%強の増量を見込んでいる。大手ウエハーメーカーの在庫調整はレガシー向けが中心となっており、当社の多結晶シリコンの多くは先端部分に使用されているため、在庫調整がある中でも引き続き消費される見込み。2025年度も販売数量の増量を見込んでおり、お客様の意見も同様。

Q:多結晶シリコンとIC ケミカルの販売数量について教えてほしい。IC ケミカルは増設直後なので余裕があるだろうが、多結晶シリコンは2024年度の販売数量が対2023年度比で20%伸びるとすると、かなり稼働率が高くなっていく印象。生産性の向上などで、2025年度も2桁%増は可能なのか。

A:そう見ている。2023年度の販売が厳しかったので在庫もあり、問題なく供給できると考えている。

<歯科器材の増強と業績への影響について>

Q:ライフサイエンスの通期計画は据え置きとなっているが、歯科器材の増強プラントの稼働状況を教えてほしい。3Q実績はどうだったのか、4Qは当初の計画通りなのか。また2025年度の見込みはどうなのか。

A:増強プラントであるMD-8棟は、一部設備に後れがあるが2月より本格稼働の予定。すでに稼働している一部工程は、省力化などの生産性向上に寄与している。2025年度以降は、市場開拓の余地がある欧州・南米で増量の要請が来ており、増設分が寄与する見込み。歯科器材においては、2025年度も力強い成長を見込んでいる。

以上